

第1回合同農業作業部会結果概要

2023年4月に締結された農林水産省とバングラデシュ共和国農業省との協力覚書に基づく第1回合同作業部会を、2024年5月27日にダッカにて開催した。

日本側参加者 農林水産省 輸出国際局 笹路審議官(共同議長)
新興地域G 嶋田交渉官
農林水産技術会議事務局 竹村専門職
在バングラデシュ日本大使館
JICA バングラデシュ事務所、JETRO ダッカ事務所
バングラデシュ側参加者 農業省 ワヒダ次官、マムドゥール・ラーマン局長(共同議長)他
漁業・畜産省、外務省、投資開発公社(BIDA)、

冒頭、本会合のTORが確認され、農業ベースのビジネスを強化し、投資を誘致することで、協力を強化して拡大する旨の協力覚書の目的を鑑み、本文書の下での協力にガイダンスを提供し、活動やプロジェクトの進捗状況を確認し、促進するものであることが確認された。

会合では、協力覚書に基づく対話の枠組みである本部会の設立を双方が歓迎したうえで、日本側から、農業ベースのビジネス強化の取組として、2024年度中にバングラデシュに食料・農業関係の官民ミッションを派遣する計画を報告し、バ国側より歓迎された。また技術開発関連の協力として、農林水産技術会議事務局や国立研究開発法人とバ国研究機関との連携状況や、日本の二国間共同研究のスキームが紹介され、バ国側は関心を示した。JICA及びJETROからは、各々の農林水産・食品分野の取組等について情報共有が行われた。

バ国からは食品加工や収穫後処理、農業の機械化、品種開発等の分野への支援の期待が表明されるとともに、食料農業政策分野の人材育成・機能強化、農業分野の技術開発、水産分野、食品加工・流通分野での取組・支援の必要性について報告がなされた。

会議後半は官民連携セッションとして実施され、日本側より、バングラデシュ国内での日本企業の活動事例として、食品加工に取り組む味の素バングラデシュ社、水産・加工に取り組むジャパン・デリカ(株)社より、バングラデシュにおける取組の紹介があり、バングラデシュ側からは、食品加工及び農業機械分野での同国企業(プランアグロ社、アンサーエナジー社)の取組について紹介があった。

最後にこのような対話の重要性を確認し、次回会合について、バ国側が日本に来訪する可能性、日本側がバ国に来訪する可能性とも排除せず、場所、時期について事務的に協議することとし、閉会した。

